

2024年10月1日

「新たな地域金融機関向け共同プラットフォーム」の採用について

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、2024年10月1日（火）、じゅうだん会参加行^{注1}とともに、日本アイ・ビー・エム株式会社が株式会社三菱UFJ銀行、株式会社インターネットイニシアティブとの戦略的パートナーシップのもと発表した「新たな地域金融機関向け共同プラットフォーム」（以下、新共同プラットフォーム^{注2}）を採用いたしますので、お知らせします。

新共同プラットフォームは、地域金融機関が既存のシステム共同化の枠組みを超え、メインフレーム^{注3}や分散系システム^{注4}を含む、あらゆるシステム基盤をそれぞれ最適な範囲で共同利用するものです。

これにより、従来同様にシステム安定稼働を維持しながら、長期的にシステムインフラの持続可能性の向上を目指してまいります。

当行では今般の取組みを通じ、投資効率に優れたシステム構造への変革を進めていくことで、お客さまサービスの高度化や地域活性化に向けた戦略的投資を強化し、地域経済の持続的成長に貢献してまいります。

注1 八十二銀行が開発する基幹系システムを共同利用する地方銀行7行（山形銀行、筑波銀行、武蔵野銀行、八十二銀行、阿波銀行、宮崎銀行、琉球銀行）の枠組みです。

(URL:<https://sec.juudankai.jp>)

注2 新共同プラットフォームは「メインフレーム共同プラットフォーム」および「分散基盤共同プラットフォーム」から成り、地域金融機関に提供されるものです。

注3 基幹システムなどに利用する大型コンピュータ。

注4 基幹システム以外の業務システムや周辺機器。

以上

報道機関からのお問い合わせ先
事務統括部 濱田 徹也 富樫 慎太郎
TEL (048) 641-6111 (代表)